

向上心の大切さ
山本昌さん語る

多治見市で講演会

元プロ野球ドラゴンズ投手でスポーツコメンテーターの山本昌さん(51)の講演会が23日、多治見市虎渓山町のとうしん学びの丘エールであり、50歳まで

現役を続けた「レジェンド」が、向上心を持って一つのことを挑戦することの大切さを説いた。

東濃信用金庫の取引先企業でつくる東信経済倶楽部の講演会。山本さんは1984年に入団して以来、ドラゴンズ一筋で史上最年長

ノーヒットノーランなど数多くの記録を打ち立てた。

山本さんは「継続する心」と題し登壇。小学3年から野球を始め、高校野球からプロ入団、米国での野球留学など数多くの転換期が成功に結びついたと説明。キーワードとして▽成功を目指し準備を続けたこと▽人との出会いに恵まれたこと▽どん底の時ほど変わるチャンスがあること―を挙げた。

ルーティンにも触れ「グラウンドでは決してつばはかないし、グラブやスパイクもいつもピカピカの状態でマウンドに上がった。普段の行いが仕事に跳ね返るの思いを持っていたから、ここまで続けてこられた」と話した。(松尾法尋)



自らの野球人生を語る山本昌さん＝多治見市虎渓山町、とうしん学びの丘エール